

福島朝鮮初中級学校へ 日退教カンパ贈呈

「教育の原点がここにある」。会場の最前席、隣の席の会田長栄さんがつぶやきました。10月25日、本年度の日退教「沖繩・東日本大震災カンパ」を手渡しに、福島朝鮮初中級学校を住谷圭造福島退教協会長と訪問しました。この日、学校は文化祭、子どもたちは生き生きと民族舞踊、歌などを保護者の詰めかける中で披露してくれました。けれども大震災・原発事故の前は130人いた子どもたちは今や15名。原発事故直後は、放射能禍を免れるために新潟県に学校ごと避難し、今もその傷跡は大きいのです。

日退教カンパは、具永泰校長に西澤会長が手渡ししました。その他に福島県教組・退教、商工会議所、地元有志、演技披露で参加した東京金剛山歌舞団などがそれぞれカンパを手交。福島退教協を中心とした県全体の連帯の大きな輪を感じさせる場面でした。校長さんからは、日退教会員に丁寧なお礼と今後のいつそうの連帯を要請されました。



具永泰校長と西澤清会長



15名全員で歌う子どもたち

いう覚悟をしたのか、もう一度確認したい。子どもにも教育は必要だというマララさんのノーベル平和賞は、私たちを励ましてくれた。歴史の傍観者でいることは許されたくない、国民の声が弱まっている今、私たちは、自分たちの想いを強く訴えていきたい、と年頭の挨拶をしました。その後、神本みえ子民主党副代表、吉田忠智社民党党首たちが挨拶をしました。

日教組 新春の集い

1月8日開催

加藤日教組委員長は、苦しんでいる子どもたちに熱い思いを届けたい、敗戦70年の今年、2つの覚悟を確認したいとし、1つに70年前の同じ過ちを繰り返してはならない、2つに阪神淡路・東日本大震災そして原発事故の時、どう



日教組加藤委員長

日退教ホームページ

「日退教」と漢字で入力するだけで簡単に検索できます。各単会の機関紙・ニュースも掲載していますので、発行したら日退教に1部郵送して下さい。

連帯カンパのお願い

2月末の期限が近づいてきましたので、至急お願いします。なお、集約上、遅れる場合はその旨連絡して下さい。

日退教通信

No. 357

2015.1

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081
Email nitralkyo@gmail.com 〒4-2-7 URL http://www.nitralkyo.com

安倍政権の“女性の活躍”は本物か?! 関連3法案を読む

日退教男女共生委員会の 学習会報告

寺井 律子

昨年11月12日の男女共生委員会では、小林わかばさん（「憲法」を愛する女性ネット）を講師にお招きし、学習会を行った。小林さんは社民党の政策審議会事務局次長として活躍で、国会での生々しい議員の発言なども紹介してくださった。

女性の活躍3法案とは、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案」「女性が活躍できる社会環境の整備の総合的かつ集中的な推進に関する法律案」「女性の健康の包括的支援に関する法律案」である。

「女性の活躍」という言葉が踊っているのに、安倍政権は女性の味方か、と勘違いしそうであるが、そうではない。社会政策である「女性の活躍」を成長戦略という経済政策として扱っていることその本質が読み取れる。目的は、「女性の職業生活における活躍」で「労働における男女平等」ではない。従来の性別役割（家事、子育て、介護、地域活動など）は維持したまま、その上で職業生活の活躍を推進しようというもの。小林さんの言葉を借りれば「女性を使い回し、使い倒す」ということ。

「女性の健康」に関する法案も、少子化対策、医療費・介護費用の削減が目的で、出産・育児・仕事・家事・介護の担い手となる女性の健康対策という面が読み取れる。

3法案は、自民党の憲法改正草案（24条「家族の助け合い

義務）や社会保障制度改革推進法（自助、家族相互の助け合い）と連動し、女性を性別役割に縛りつける懸念が大きい。さらに、集団的自衛権で憲法を骨抜きにしようとするやり口で、3法案で「男女共同参画社会基本法」をなし崩しにしていこうとしているのではない。

安倍内閣の女性大臣の特徴は、「改憲、国民の人権制限、家長長制を引きずる家族観、夫婦別姓選択制反対、性教育・ジェンダー叩き、男女共同参画社会基本法に否定的

言葉にまどわされず、本質を見極め、社会を逆行させなくてはならないと思った。

労働者保護ルール改悪阻止!

連合は12月5日、都内で標記の集会を持ちました。

古賀会長は、田安・株高で持てる者の一部は富を得ているが、実質賃金は16カ月連続で下がっている。格差は拡大し、預金なしの人は28%になっている。ボトムアップの政策へ転換すべきだと訴えました。

総務省「労働力調査」によると、非正規雇用者数は、この30年間に増え続け、今や4割弱を占めています。そして、生涯

賃金の差は生涯賃金で男性の場合はおよそ1億円、女性の場合には6800万円も正社員よりも下回り、格差社会の大きな要因になっています。

フランス人経済学者トマ・ピケティの大ベストセラー「21世紀の資本主義」では、株や不動産など資本家らが投資によつて得る収益率の方が、国民所得の上昇率よりも増え、格差が拡大すると分析し、格差を拡大を食い止めるには世界規模で所得

と資産に累進課税をかけることが必要と説いている。折から、厚労省は1月16日、労働時間ではなく成果で評価する「残業ゼロ」制度の報告書骨子案を労働政策審議会分科会に示した。

「残業ゼロより、過労死ゼロ」のアピールを各地の方言では、次のようになっています。青森..のれそれがっぱいでも、残業代ね!過労死す!そつたごマイネ!

山形..ほだなルールでダメだべずー!

山梨..コピツとしたルールをかえちよし!

石川..労働法制改悪は、だちゃんぞいね!

京都..あさまへん、ゆるしまへん、労働法制改悪絶対阻止!

和歌山..がいに働いて残業代でろ(ゼロ)あかんでえ!鳥根..そぎゃんことしたら、おころぞ!

高知..こじゃんち怒つちゅう!沖繩..がつていんならんど!

庶民の声 本音を批判として

仏週刊新聞社「シャルリ・エブト」が襲撃され、多数の人が死傷されました。

日本では、世相を反映した川柳や隠れた本音の表現がありますので、年賀状や新聞報道も含め紹介します。

「アベのミクス」ミクスとは、混ぜることで、いろんな色を混ぜると黒くなる。

黒い政治を表現している。

「アベノリスク」とも言われていたが、総選挙で大勝し「アベのみクスッ」(笑い)

「積極的 兵は 主義」というのもありました。



「ストップ 格差社会」のリレー、ゴール

私たちの年金積立金が危ない!!!

130兆円!!

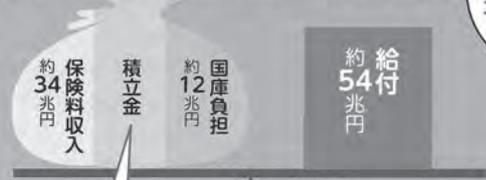
STOP THE 格差社会! 暮らしの質を上げて実現

GPIFの今回の運用の見直しは目的も内容も問題だらけ!

リスクの高い株式中心に!
2014年10月31日、GPIFが基本ポートフォリオを変更し公表した。

私たちの年金積立金が、1年で〇〇兆円なくなっちゃうかも?!

公的年金制度全体の財政状況(2014年度予算ベース)



複数の専門家が1年間の保険料収入に匹敵する30兆円規模の損失が生じる可能性があると指摘
しかし、政府は数字を明言せず



足りない分を年金積立金(約155兆円)を運用して賄っている。そのうち厚生年金・国民年金の年金積立金約130兆円を管理・運用しているのが年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)である。

ええっ!? 経済成長のために使っていないなんて、誰も言っていないですよ

ええっ!? 経済成長のために運用の見直しを掲げているなかで行われたことだ

まず大きな問題は、政府が日本再興戦略などで、「専ら被保険者の利益のため」という厚生年金保険法等の趣旨を逸脱し、

「専ら被保険者の利益のため」という趣旨を逸脱し、

経済成長のために運用の見直しを掲げているなかで行われたことだ

先ほ! 今回の基本ポートフォリオの変更の何が問題なんですか?

まず大きな問題は、政府が日本再興戦略などで、「専ら被保険者の利益のため」という趣旨を逸脱し、

リスク リスク リスク リスク リスク リスク リスク リスク

安全 安全 安全

ええっ!? これだけ株式の比率を引き上げれば、リーマン・ショック時の損失をはるかに上回る可能性がある

変更後

国内債券	35%
国内株式	25%
外国株式	25%
外国債券	15%

変更前

国内債券*	60%
国内株式	12%
外国株式	12%
外国債券	11%
短期資産	5%

*国債など

ええっ!? それから何より、保険料の拠出者である労使や国民に対する十分な説明を欠いたまま変更したことが極めて問題だと思わないか?

10月末の日銀の追加金融緩和策と同日の発表になったのは偶然なのかなあ?

ボクらが払った保険料の一部なのに

ヘタしたら、年金制度全体への不信にもつながっちゃいますよ!

考えてみたら、何の説明も受けてないですよ

日退教第1回東アジア海外研修旅行

―交流と3つの世界遺産を巡る旅―に参加して

神奈川高教組シニア運動 山際正道

10月23～27日、西安・洛陽訪問が実施された。参加者11名、私はその一員として参加した。

西安では、この地に留学した阿倍仲麻呂の碑を見学した。そこで中日教育者友好記念会の皆さんと、短歌・俳句吟詠会が開催され、私は拙くも次のように詠んだ。

「隣人の、離れられない、お隣さん、知恵出し合って、仲良くいこう」

次いで世界遺産、秦の始皇帝陵・兵馬俑を見学



中国三大石窟の1つ、すばらしい龍門石窟

した。その遺跡の大きさと整然と並ぶ兵馬俑、一人一人が生きているがごとくの像は、圧巻であった。発掘はまだ道半ばだそうであり、今後の進展が楽しみである。

25日、高速鉄道にて洛陽に移動。駅舎、ホームの大きく立派なこと、圧倒される思いであった。世界遺産の龍門石窟は、山肌を刻んだ多くの仏像が壮観だった。また奉法で知られた世界遺産少林寺では、多くの若い修行僧が汗流す姿を見ることができた。

26日にはインドより三蔵法師がもたらした経典・仏像を保管して

第2回東アジア海外研修旅行

10月6日(火)～9日(金) 3泊4日

今年は、明成皇后暗殺120年
日本敗戦70年
日韓条約締結50年の年です。
それにふさわしい旅行をします。
参加者を募集します。
詳細は次号に掲載予定です。

いる大雁塔を見学した。

どの世界遺産・施設も街並みも巨大でそこに多くの人が行き交う姿があった。多数の人、宗教、人種を国にまとめてゆくことは大きな困難があることでしょう。そのための方途を試行錯誤し、前進してゆくことを見守り、何かの役に立てたらと思つた。

現在、日本と中国の間には領土問題を始め様々な問題がある。それでも離れることのできない隣国として仲良くしてゆく、知恵を出し合ってお互いを知り合うことが重要と思う。私たちが学校に勤めていたことを思うと、長い目で見て、若い世代の交流・理解が深まる方途を見出すことができなにかと思う。例えば高校生が日中平和友好大使として相互交流することなどが、考えられて良いのではないのでしょうか。

◆編集後記◆

1月中旬、都庁で行われた東京高齢・退職者連合による「対都要請行動」に参加した。この「要請」は、医療・介護などの諸課題をテーマに20数年継続しているが、ここ3年は介護保険制度の問題を中心にしている。「いつ、だが、どのような」介護の対象になるか分からない、まさに「明日は我が身」という事態にどう対応するかだ。

それは、高齢化が急速に進むなか、介護保険制度の保険者が区市町村になつていくことだ。特に、2015年度からの第六期見直しで、要支援事業が各自自治体に移行されるというが、果たしてやり切れるのか大きな問題だ。もし、自治体によって格差が生じ、あるいはサービスが個人負担の額によって異なるとなれば、「だれでも、いつでも、どこでも」平等に受けられる「社会保障制度」の基本理念が根本から覆ることになる。

東京高退連は、介護保険制度発足の翌年から、都内の自治体に対し、介護保険の実施状況について、テーマを絞って聞き取り調査をしている。

昨年度は、港、渋谷、品川、北、荒川、江戸川区と、西東京、三鷹、青梅、八王子市に調査を実施した。ここで明らかになった問題を絞り、予め都知事あてに要請し、福祉保健局高齢社会対策部の介護支援、施設支援、在宅支援の各課担当者から回答をもらう。それを精査して、高退連幹事と各加盟単会の参加者が再質問して回答を聞き出すのが「要請行動」だ。

今年度は、これ以外に都職員のみ「介護休暇取得」の実態と、「後期高齢者医療制度」の広域連合から各都道府県への移管にかかわる件、「シルバーパス」に関連する件が加わった。

(し)